

事業名	検診検査体制整備費		
細事業名	検診診査検査精度向上対策事業費	財務コード	092702
担当部課室	福祉保健 部 健康増進 課 がん対策推進 担当 (内線) 3525		

事業の概要

実施期間	始期 S58 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	県(委託)、補助((公財)山梨県健康管理事業団)		
事業の目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか
	検診機関及び検診従事者	検査結果の精度の維持向上及び検診従事者の資質の向上が図られている。	県民への質の高い検診の提供
事業の内容 主にH25年度	<p>○事業概要</p> <p>検診の精度向上を図ることを目的に次の事業を実施</p> <p>1. 検診実施機関の精度管理の向上、検診従事者の資質の向上を図る。 生活習慣病検診従事者指導講習会(S60~) (1)~(6)は山梨県医師会へ委託、(7)は山梨県臨床細胞学会へ委託。 目的: 検診等に従事する者の資質の向上を図る。 内容: 生活習慣病検診従事者(医師、保健師、臨床検査技師、診療放射線技師等)への講習会を開催する。 (1)胃がん検診読影・放射線撮影従事者講習会 7回 181名 13.5時間 (2)胃がん・大腸がん従事者講習会 2回 61名 1.5時間 (3)子宮がん従事者講習会 1回 38名 1.5時間 (4)肺がん・乳がん従事者講習会 1回 39名 2時間 (5)肝がん検診従事者講習会 1回 34名 1.5時間 (6)循環器疾患等検診従事者講習会 1回 28名 1.5時間 (7)細胞診従事者講習会 14回 245名 細胞診総論 8時間 婦人科系細胞診 8時間 呼吸器系細胞診 8時間 スライドカンファレンス、細胞診の実技の習得 12時間</p> <p>検査精度向上事業の実施(S58~)(委託先:一般社団法人山梨県医師会) 目的: 病院、診療所、衛生検査所、検診機関等の検査精度の向上を図る。 内容: 精度管理試験を実施し、精度管理についての評価を行い、必要な指導を行う。精度管理実施対象機関 75機関 胃集団検診追跡調査の実施(S58~)(委託先:一般社団法人山梨県医師会) 目的: 受診者の状況を把握するとともに検診実施機関の精度管理の状況を把握し、精度のあり方を検討する。 内容: 平成24年度に実施した胃集団検診を受診した14,621人を対象に調査研究を実施した。</p> <p>2. 山梨県健康管理事業団の円滑な運営を図る(運営費補助金の交付(H14~)) (公財)山梨県健康管理事業団の行う業務に係る経費を補助し、事業団の運営の円滑化を図る。 事業内容 ・健診事業(住民健診、学校保健(児童・生徒等の検診・検査)等 ・普及啓発活動(がん・結核・生活習慣病の予防など健康に関する正しい知識の普及啓発) ・救急医療情報センター(医療機関の応急情報などを県民へ24時間体制で提供)</p>		
	根拠法令等	「健康診査管理指導等事業実施のための指針(H20.3.31付厚生労働省健康局総務課長通知)」、「生活習慣病検診従事者指導講習事業実施要領」、「生活習慣病検診従事者指導講習事業(細胞診)実施要領」、「検査精度向上事業実施要領」、「胃集団検診追跡調査事業実施要領」、「山梨県健康管理事業団運営費補助金交付要綱」	

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と目標の実現度	24年度	25年度		26年度	27年度	事業目標の考え方
	実績値	目標値	実績値	見込値	目標値	
活動指標						活動指標
生活習慣病検診従事者指導講習会参加者数	732人	732人	626人	679人	679人	目標設定の考え方 精度向上を目的としているため、従事者指導講習会参加者数を設定する。
活動指標達成率(実績値/目標値)	85.5 %					データの出典等 事業実績報告書
成果指標						成果指標
検査精度向上事業における検査項目のうち、「早急に改善が必要」とされる項目がない割合	96.6%	100%	96.9%	100%	100%	目標設定の考え方 検査精度の維持向上には「早急に改善が必要」とされる項目がないことを目標とするため100%と設定
成果指標達成率(実績値/目標値)	96.9 %					データの出典等 事業実績報告書
決算額又は予算額(千円)うち一財額	15,153		15,133	15,528	15,528	成果指標によらない成果
所要時間(直接分)	115 時間		115 時間	115 時間	115 時間	講習会の開催は、日進月歩の検診技術や医療情報を得る上で受講者からは好評を得ており、従事者の資質の向上に寄与している。 さらに、胃集団検診追跡調査や検診機関等の精度管理を毎年度実施し、問題点及び課題等の検討を行うことにより精度の維持・向上に寄与している。 事業団については、各種事業や普及啓発活動を実施し、公益法人として本県の保健衛生事業を円滑に推進していることから、質の高い検診の提供に寄与している。
所要時間(間接分)	時間		時間	時間	時間	
所要時間計	115 時間		115 時間	115 時間	115 時間	
人件費コスト 単位:千円 (@2,050円×所要時間)	236		236	236	236	

これまでの事業の見直し・改善状況

--

**活動量と成果の判断(平成25年度の業績評価)**

(1)事業は予定された活動量を上げているか(「活動指標の達成率」等から事業の活動量を判断)		
数値判定	活動量に係る一次評価	活動量に係る一次評価の考え方 数値判定と一次評価が異なる場合等に記載すること
H25年度活動指標の達成率		
b	b	

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上) b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満) c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)  
 d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)

(2)事業は意図した成果を上げているか(「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)		
数値判定	成果に係る一次評価	成果に係る一次評価の考え方 必ず記載すること
H25年度成果指標の達成率		検査精度向上事業における検査項目のうち、「早急に改善が必要」とされる項目がない割合は96.9%であることから、医療機関等の検査の精度は高く保たれている。 講習会の開催は、日進月歩の検診技術や医療情報を得る上で受講者からは好評を得ており、従事者の資質の向上に寄与している。さらに、胃集団検診追跡調査や検診機関等の精度管理を毎年度実施し、問題点及び課題等の検討を行うことにより精度の維持・向上に寄与している。 事業団については、各種事業や普及啓発活動を実施し、公益法人として本県の保健衛生事業を円滑に推進していることから、質の高い検診の提供に寄与している。 以上のことから、意図した成果を上げている。
b	b	

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上) b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満) c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満) d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)

**見直しの必要性(平成27年度に向けた改善等の考え方)**

一次評価(担当部局評価結果)		
見直しの必要性	説明	以外の判断項目
有	県民の健康を守るための検診事業においては、検診精度の維持・向上は必要不可欠であるため、今後も事業を積極的に推進していかなければならない。 また、医療従事者の専門集団である県医師会等に委託することが、事業を実施する上で最も効果的かつ効率的である。 今後は、県民のがんの罹患状況や検診機関の状況など分析した上で、より質の高い検診の提供ができるよう精度管理のあり方を検討していく。	d

・「以外の判断項目」の欄  
 a: 目的の達成 b: 新たな課題への対応 c: 対象の変化 d: ニーズの変化 e: 法律・制度の改正 f: 民間等実施 g: 市町村等へ移管 h: 外部委託  
 i: 経費節減 j: 類似事業と統合・連携 k: 所要時間の縮減 l: プロセスの改善 m: その他

二次評価(担当部局再評価結果) 行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価		
見直しの必要性	説明	以外の判断項目

・「以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする

**見直しの方向(平成27年度当初予算等での対応状況)**

見直しの方向	具体的な実施計画等	「見直しの必要性」と「見直しの方向」が異なる場合は、その理由も記載すること
予算要求時に記入 予算編成後に修正等		

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止(施設については「譲渡」)」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること  
 ・見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること

# 自主点検シート(事業の内容及び所要時間)に関する附属資料

様式2

所属名:健康増進課

細事業名:検診診査検査精度向上対策事業費

調書番号: 7

事業の内容を細分化した業務名	具体的な業務プロセス(手順)	業務の時期(フロー)	H25所要時間(h)	H26所要時間(h)A	H27所要時間(h)B	縮減等B-A	具体的業務の見直しの内容	見直しに至った理由等(又は見直しなしの理由等)
1 検診診査検査精度向上対策事業・業務委託	負担行為(契約書(案))作成	4月	25	25	25	0	なし	業務委託に係る実務であり、適正な時間で処理しているため
	契約事務	4月	25	25	25	0	なし	
	進捗管理	通年	23	23	23	0	なし	
	前払い金支払い	8月	8	8	8	0	なし	
	実績報告書審査	3月~4月	12	12	12	0	なし	
	精算払い金支払い	4月~5月	4	4	4	0	なし	
(小計)			97	97	97	0		
2 検診診査検査精度向上対策事業・補助金交付業務	補助金要綱に基づく申請書の審査及び負担行為	4月	6	6	6	0	なし	補助金の交付に係る実務であり、適正な時間で処理しているため
	進捗管理	通年	6	6	6	0	なし	
	概算払い	9月	2	2	2	0	なし	
	実績報告書審査	3月~4月	3	3	3	0	なし	
	額の確定・精算払い金支払い	4月~5月	1	1	1	0	なし	
(小計)			18	18	18	0		
3						0		
						0		
						0		
						0		
						0		
(小計)			0	0	0	0		
所要時間(計)			115	115	115	0		

(留意事項)

- 1 事業を細分化した業務名は、事務事業を構成する業務ごとに細分化し、その業務名を記載すること。
- 2 具体的な業務プロセス(手順)は、できる限り多くのプロセスを記載すること。
- 3 業務の時期は、業務のフローがわかるように具体的な業務プロセスごとに記載すること。(毎月、四半期ごとの業務等は、その1サイクルの期間を記載すること。)
- 4 各年度の所要時間(計)は、事務事業自主点検シートの「事業の目標、実施状況等」の「所要時間計」と一致すること。
- 5 具体的業務の見直しの内容は、わかりやすく簡潔に記載すること。(県民から見て分かりやすい表現とすること。)なお、見直しがない場合は、「なし」と記載すること。
- 6 見直しに至った理由または見直しなしの理由は、詳細に記載すること。(具体的な業務プロセスごと、または細分化した業務ごとに記載すること。)
- 7 適宜、業務内容に合わせ、行を加除して記載すること。(複数ページ可)

## 検査精度向上事業による精度管理試験の実施方法

統一検体を送付し、全施設で一斉に検査を実施し、この結果を精査して各施設の検査レベルを把握する。

課題を生じた施設は指導等を行い、精度の維持及び検査データの信頼性の維持・向上を図る。

医療機関等へ事業への参加希望調査

参加医療機関等の一覧表作成及び検体の準備

参加する医療機関等へ検体を一斉送付（到着後、2週間以内に検査結果を報告）

医療機関等は検査結果を報告

報告された結果と基となるデータとの照合作業及び統計処理

山梨県検査精度管理調査委員会を開催し、評価及び要改善施設への指導方法等の検討を実施

参加医療機関等へ結果及び評価の通知及び要改善施設へ指導